

## ◆◆ モバイルプラネタリウムの活動状況

### ◆ モバイルプラネタリウムの数と種別

今回のデータブック調査の回答で、モバイルプラネタリウム専門の事業者のうち9事業者から回答をいただいた。今回の集計ではオンライン配信によるものを割愛している。オンラインを介した活動の集計は各地で様々な形で行われているので今後の課題としたい。また機材はポータブル系であっても固定したサイトで活動をされている場合は、施設に区分することとして全体の集計を行った。また詳細や活動の回答のない1回答を除く6事業者の回答を集計する。ただしそれらの事業者の中にも固定と移動を併用される場合もあり、厳密な定義や区分は難しい。

また固定のプラネタリウムを有する施設でモバイルプラネタリウムも保有している事例について26回答をいただいた。詳細もしくは活動の回答のない6回答を除く有効回答20として集計する。

### ◆ モバイルプラネタリウムの投影機器および可搬式ドームについて

投影機器については星空を映し出すための光学式と、星空と映像の併用が可能なデジタル式がある。表では回答の内容からそれぞれを区分けした。また複数の投影機器、複数の可搬式ドームを有する施設、事業者もあるが、それぞれ代表的なものや大きいもので集計した。実際には会場の大きさや人数によって大きさの違うドームを使い分ける場合や、複数保有している光学式、デジタル式機器についても使い分ける場合がある。

有効回答26のうち、デジタル式が主と思われる事例が12あり、併用も含めると多数派になりつつある。

表2-1. モバイルプラネタリウムのメーカー、事業者・施設数

投影機のメーカー	有する事業者・施設数
自作機等	1
アストロアーツ	3
大平技研	6
学研	1
国立天文台	1
五藤光学研究所	7
コニカミノルタプラネタリウム	2
セガトイズ	1
天窓工房	1
Digitalis Education Solution	1
SureyyaSoft	1
SONY	1

投影機のメーカーの順は表記略称の五十音順

表 2-2. モバイルプラネタリウムの可搬式ドームの保有台数と大きさ

	可搬式ドームの大きさ(直径)		
	3.0m 未満	3.0m 以上 6.0m 未満	6.0m 以上
モバイルプラネタリウム専門事業者	0	4	2
固定のプラネタリウムを有する施設	2	11	7
計	2	15	9

◆ モバイルプラネタリウムの活動状況と新型コロナウイルス感染症による影響

前回のデータブック 2015 での調査によると、2014 年度のモバイルプラネタリウム全体の観覧者数は 43,505 人、投影回数は 1,359 回であった。今回の調査ではモバイルプラネタリウム専門事業者と固有のプラネタリウムを有する施設を区分しての観覧者数と回数を集計した。残念ながら同じ事業者や施設からの継続した回答が得られていないため、従前との直接の比較が難しいが、2019 年度にはほぼ以前と同程度の活動が行われていたと思われる。そして 2020 年度には投影回数・観覧者数ともに大きく落ち込んでいることが見て取れる。しかし一方で、個別のデータでは反対に増えている事例もある。例えば学校団体がまとまって地域のプラネタリウムへ行けなかわりに、モバイルプラネタリウム事業者へ学校に来てもらうという需要もあったとのことで、今後に向けて調査を継続していきたい。

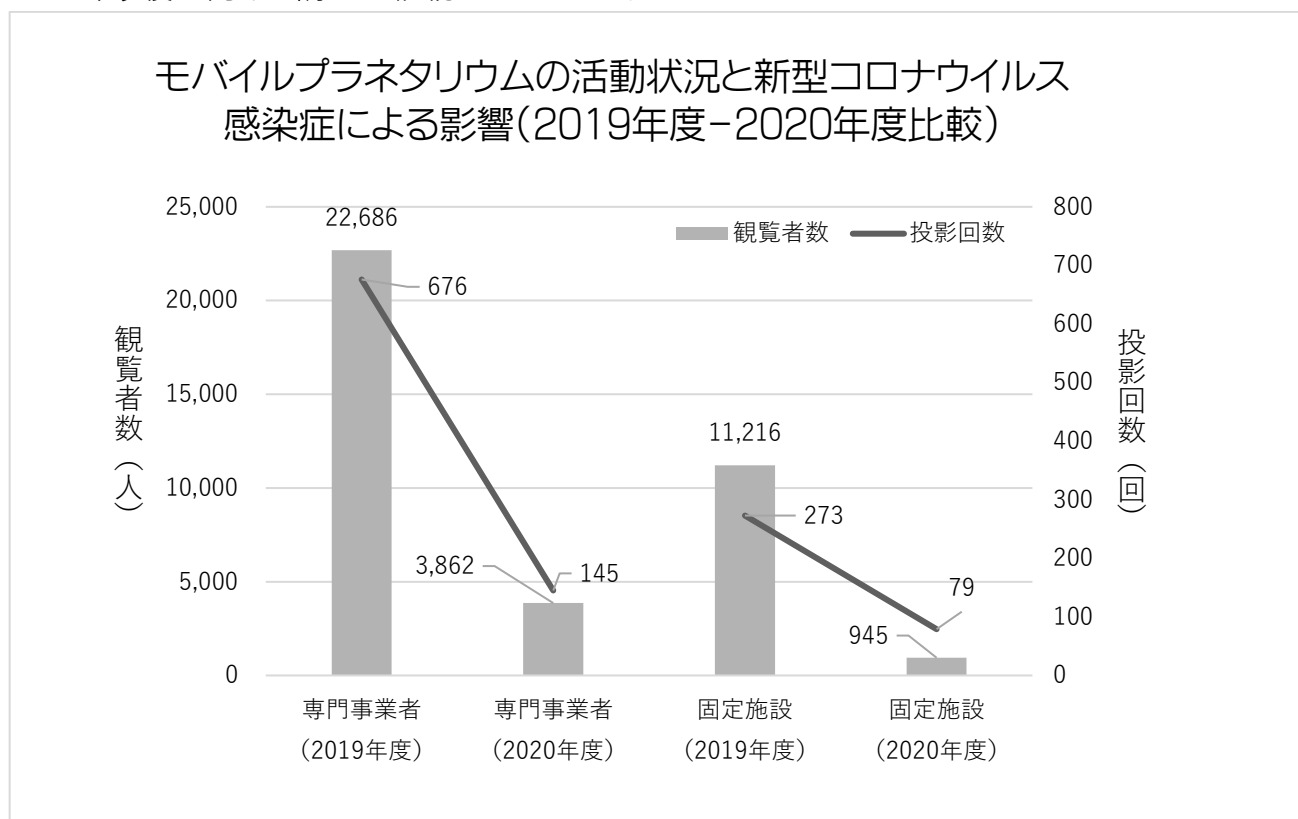


図 2-1. モバイルプラネタリウムの活動状況と新型コロナウイルス感染症による影響